

令和8年
2026年

5月1日
金曜日

第11942号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



熟豊ファームが「TMRセンター」の竣工式を行った……P4～5

- ▶ 全体生産量は微減—3月分の加工品生産量・P2
- ▶ [食肉流通統計・3月] と畜頭数は豚2・5%増、成牛は0・4%減 …… P3
- ▶ 全国食肉学校が6月11日、12日に馬事畜産会館で基礎セミナーを開催 …… P3
- ▶ [役員人事]オールインワン、三谷廣代表取締役社長が代表取締役会長後任に木村都氏が代表取締役社長 …… P3
- ▶ 熟豊ファームの「TMRセンター」が竣工—輸入依存からの脱却、島根から発信する「循環型畜産」の真髄 …… P4～5
- ▶ [豚肉調製品輸入通関・3月] シーズンドなど合計7290 tで5・4%減 …… P6
- ▶ [輸入牛現物相場] モモ系の荷動き良化、ロインは一服か …… P7
- ▶ [ブロイラー市中現物相場]国産生鮮モモ高値、稼働少なく物量タイト …… P7

注目のヘッドライン

▶ 全体生産量は微減— 3月分の加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2026年3月分の食肉加工品生産量を発表した。

…詳細はP2

熟豊ファームの「TMRセンター」が竣工

…詳細はP4～5

- ▶ [資料] 食肉加工品生産数量調査報告書（2026年3月分） …… P8
- ▶ [資料] 2026年3月分の食肉輸入通関実績③ …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]30日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]30日 …… P11

りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12
営業一課 / ☎(03) 3919-2929 FAX(03) 3919-2930
総務 / ☎(03) 3919-2980 FAX(03) 3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

全体生産量は微減— 3月分の加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2026年3月分の食肉加工品生産量を発表した。それによると、全体の生産量は3万9682t(前年同期比0・2%減)で減少に転じた。このうちハム類は6695t(2・9%減)、ベーコン類は6948t(1・2%減)で共に減少に転じ、ソーセージ類は2万4356t(0・7%増)で増加を維持した。プレス類は1683t(0・9%増)だった。

3月のハム類はメインのロースハムが4704t(3・2%減)と先月増加に転じたものの再び減少に転じ、ラックスハムが699t(3・0%減)、その他ハムは716t(11・4%減)と振るわず。ボンレスハムは475t(16・1%増)と増加したが、全体では減少した。

ベーコン類は大きな割合を占めるバラベーコンが6293t(2・9%減)と減少。それ以外ではショルダーベーコンが466t(28・2%増)と大きく増加、その他

ベーコンも189t(3・3%増)と増加したが、全体の落ち込みをカバーするには至らなかった。スペインで発生したアフリカ豚熱の影響で、同国からの豚肉輸入が一時停止されており、比較的加工肉としての仕向量が多かったスペイン産ベリーの穴を埋めることが、物量の面でも、値頃感の面でも難しい状況にある。

ソーセージ類は中心となるウインナーソーセージが1万8806t(1・0%増)と伸長。フランクフルトソーセージが2221t(13・5%減)と大きく減少したが、ポロニアソーセージは1261t(23・1%増)と前月に続き増加した。オールポークソーセージは1万4852t(2・8%増)と増加を維持している。

プレス類では引き続きプレスハムが303t(12・6%増)、チョップドハムは1380t(1・4%減)で増減が分かれた。

[2026年3月の加工品生産量]

(単位:t,%)

銘柄	生産数量	前年同月比	2026年累計	前年同期比
ロースハム	4,703.7	96.8	13,033.6	98.6
ボンレスハム	475.2	116.1	1,269.9	105.0
ラックスハム	699.3	97.0	2,051.9	105.6
その他ハム	715.5	88.6	2,030.3	97.1
ハム類計	6,695.0	97.1	18,680.9	99.5
チョップドハム	1,379.6	98.6	3,840.0	105.7
プレス類計	1,682.9	100.9	4,619.5	105.2
ベーコン	6,292.5	97.1	17,368.6	96.4
ショルダーベーコン	465.5	128.2	1,376.6	131.2
ベーコン類計	6,948.3	98.8	19,294.8	98.5
ウインナーソーセージ	18,805.8	101.0	53,514.4	100.8
フランクフルトソーセージ	2,220.7	86.5	6,102.8	89.9
リオナソーセージ	438.7	130.9	1,155.2	112.5
ポロニアソーセージ	1,261.1	123.1	3,352.7	107.6
無塩漬ソーセージ	734.1	95.0	2,205.6	97.9
その他ソーセージ	291.2	79.4	807.2	76.5
ソーセージ類計	24,355.9	100.7	68,719.7	100.0
ポークソーセージ	14,852.4	102.8	41,777.2	102.2
総合計	39,682.1	99.8	111,314.9	99.8
ハンバーグ類	1,688.3	94.7	4,943.5	97.5
やき豚	1,693.5	106.9	4,554.2	103.4
その他	3,784.0	106.2	10,397.8	100.6

【食肉流通統計・3月】と畜頭数は豚2・5%増、成牛は0・4%減

農水省統計部が発表した3月の食肉流通統計によると、全国の豚と畜頭数は138万6157頭(前年同月比2・5%増)と増加した。枝肉生産量は11万1724

t(2・8%増)となった。豚卸売価格(省令)は651円(6・9%高)で、東京は677円(10・1%高)、大阪は673円(10・0%高)だった。

一方、成牛と畜頭数は8万8316頭(0・4%減)と減少し、このうち和牛は計4万3412頭(1・2%減)、乳牛は計2万3153頭(2・9%減)、交雑牛は計2万1694頭(4・1%増)となった。成牛の枝肉生産量は4万1047t(1・6%増)と前年を上回った。

区分		と畜頭数(頭)		枝肉生産量(t)	
豚		1,386,157	102.5	111,724	102.8
成牛計		88,316	99.6	41,047	101.6
和牛	和牛計	43,412	98.8	21,093	101.6
	雌	20,668	96.0	9,160	99.8
	去勢	22,706	101.6	11,916	103.1
	雄	38	92.7	17	115.3
乳牛	*乳牛計	23,153	97.1	8,484	96.7
	雌	14,310	98.2	4,614	98.5
	去勢	8,809	95.4	3,868	95.0
	雄	34	103.0	3	16.8
交雑牛	交雑牛計	21,694	104.1	11,445	105.5
	雌	10,296	105.2	5,095	106.4
	去勢	11,393	103.2	6,348	104.9
	雄	5	62.5	2.5	56.8
その他の牛計		57	69.5	25	93.7
その他の牛雌		17	42.5	6	41.1
その他の牛去勢		34	97.1	17	185.4
その他の牛雄		6	85.7	3	86.7
子牛		422	100.2	35	92.1
馬		793	110.6	333	106.7

* 22年1月分調査より「乳牛」は乳用種の牛、「交雑牛」は乳牛と和牛、乳牛と外国種の交雑種として分離した。

区分	東京市場		大阪市場		
	価格	前年同月比	価格	前年同月比	
和牛去勢	A5	2,635	104.2	2,611	102.2
	A4	2,449	108.1	2,348	104.2
	A3	2,321	109.9	2,159	110.4
	A2	1,878	101.5	-	-
交雑種去勢	B3	1,666	110.9	1,712	110.4
	B2	1,586	113.8	1,641	-
乳牛去勢	B3	-	-	-	-
	B2	1,313	116.1	-	-

	頭数	前年同月比	価格	前年同月比
主要卸市場計	81,855	104.6	651	106.9
うち東京	6,460	97.4	677	110.1
大阪	355	103.2	673	110.0

全国食肉学校が6月11日、12日に馬事畜産会館で基礎セミナーを開催

公益(株)全国食肉学校(小原和仁学校長)は、6月11、12日に馬事畜産会館(東京都中央区新川2-6-16)で、食肉業界で必須となる基礎知識を学ぶセミナー2講座を開催する。受講生を募集している。

11日13時30分~17時、食肉流通や枝肉取引規格、牛・豚肉の部分肉・精肉加工工程、品質・衛生管理など食肉関連の仕事をする上で最低限必要な基礎知識を分かりやすく学ぶ「食肉の基礎知識半日セミナー」を開催する。受講料は1万6500円(税込み)

翌、12日に同会場で9時30分~17時、「食肉の原価計算基礎から応用セミナー」を開催する。講義で原価認識の重要性や原価の構成要素などを学び、牛・豚肉の原価計算や値入れ、売価計算などについて演習を行う。受講料は2万7500円(税込み)

問い合わせは 電話0270-65-2571まで。

【役員人事】オールインワン、三谷廣代表取締役社長が代表取締役会長 後任に木村都氏が代表取締役社長

日本の牛用配合飼料のパイオニアである(株)オールインワン(香川県東かがわ市)は、このほど、2月1日付で三谷廣代表取締役社長が代表取締役会長に就任し、後任として木村都氏が代表取締役社長に就任したことを発表した。また、次の通り役員を選任した。

代表取締役会長 三谷廣▷代表取締役社長 木

村都▷常務取締役 桑島孝仁▷監査役 三好美枝▷同 半田武儀

常務執行役員 製造・原料担当 高本恵吾▷執行役員 営業担当 竹山晋作▷執行役員 東日本事務所担当 高橋明美▷執行役員 営業事務担当 水口清

熟豊ファームの「TMR センター」が竣工 — 輸入依存からの脱却、島根から発信する「循環型畜産」の真髄

島根県で黒毛和牛のブランド経産牛「サステナブル和牛 熟」などを生産する熟豊ファーム(島根県雲南市、石飛修平社長)は27日、かねてより同社が建設を進めてきた「TMRセンター」の完成に伴い、竣工式を開催。業界関係者や関連事業者、JAしまね職員ら多数が参集し、華やかに執り行われた。

冒頭、石飛社長は出席者に謝辞を述べた後「輸出原料だけに頼らない耕畜連携の強化や、食品製造過程で発生する副産物などの地域資源を活用していく地域循環モデルの確立を目指している。このセンターを地域の畜産基盤として育て、皆さまと共に持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいくためにも、引き続きご指導とご支援をお願いしたい」とあいさつ。

そもそも「TMR(Total Mixed Ration)」とは何か。食肉事業者には、まだそれほど浸透していないが、生産現場や飼料業界では今、非常に高い関心が寄せられているキーワードだ。一言で言えば、牛に必要な粗飼料(草)と濃厚飼料(穀物など)を、緻密な栄養計算に基づいて均一に混ぜ合わせた「完全食」のことである。

従来の和牛肥育では「粗飼料と濃厚飼料を別々に給与する分離給与」が主流である。TMRは、これに対していくつかの構造的な優位性を持つ。①ルーメン環境の安定化＝和牛の第一胃(ルーメン)は、糖・デンプンを急激に摂取するとpHが急落し「亜急性ルーメンアシドーシス(SARA)＝体調急変による事故」を起こしやすい。分離給与では牛が「食べておいしい」濃厚飼料だけを先食いするため、これが構造的に発生しやすいためだ。TMRでは、粗飼料が緩衝材として常に混在するため、ルーメンpHの変動が小さくなり、消化効率と健康状態が安定する②個体間の栄養摂取ムラの低減＝分離給与では強い個体が先食いし、弱い個体が栄養不足になる「競合摂食」が問題になる。TMRは一口ごとに栄養バランスが均等なので、群飼育でも個体差が出にくいとされる③労働効率の向上＝飼料調製・給与作業を一本化できるため、肥育事業における省力化効果が大きい。特にある程度の規模感を持つ大型農場では、飼料ミキサーワゴン(TMRミキサー)との組み合わせで、給与作業の機械化が進みやすい



④飼料設計の精度向上＝配合比率をデータ管理しやすく、肥育ステージ(導入期・増体期・仕上げ期)ごとの栄養設計が明確にできる。ビタミン制御(霜降り誘導)などの精密な栄養操作も組み込みやすい—といったメリットがある。

一方、和牛農家において、まだ大きく浸透していないのは、もともと、TMRは乳牛肥育で先行発展した技術であり、和牛肥育には「仕上げ期の高濃厚飼料比率」などにおいて、調整すべき課題があるとされてきたためとされている。

特筆すべきは、その圧倒的なコストパフォーマンスだ。石飛社長は「輸入穀物価格が(自分が創業した)9年前の倍近くに跳ね上がった今、飼料代を下げなければ畜産経営は無理」と断じる。同センターが供給するTMRは、高止まりする輸入原料を地域の食品副産物に置き換えることで、出荷までの飼料コストを従来の2分の1から3分の2程度まで抑制することに成功した。これは、飼料高騰に苦しむ生産農家にとって、大きさではなく「イノベーション」とも呼べるほどのインパクトではないだろうか。

今回のセンターは、もともと、同社の飼料倉庫として

活用していたが、業容拡大に伴い、規模を拡張。畜産クラスター事業などを活用し、海外製の大型ミキサーと圧縮梱包機(Orkel社製)を新規導入。施設も増築・改修した。総投資は2億円近くに上るといふ。畜産を取り巻く経営環境が極めて厳しい状況下で、なぜ、同社が多額の設備投資を行うリスクをとって自社で飼料工場を作ったのか。そこには「手付かずで眠っている地域資源」の掘り起こしと、世界市場を見据えたブランド戦略の強化という狙いがある。

現在、世界の畜産市場は、EUDR(欧州森林破壊防止規則)に代表される持続可能性の証明がなければ、販路すら確保できない時代に突入している。石飛社長の狙いは、地域の食品副産物を活用することで「生産履歴の透明化」と「輸入依存からの脱却」を同時に達成することにある。

センターで活用される原料は、出雲そばの麺くず、しょうゆかす、酒かす、ビールかす、豆腐かす、さらには蒸したさつま芋など、島根の豊かな食産業から生まれる「副産物」だ。これは、同社が引き取る以前であれば、食品事業者が産廃処理業者に「有償」で引き取ってもらっていた原料である。それを同社が飼料として活用することで「win-win」の構図が生まれている。蒸し芋の端材の活用などについては、「さつま芋は蒸すことでタンパク質が分解され、牛の吸収効率が劇的に上がる」と、技術的な裏付けも抜かりない。こうした副産物と粗飼料を混ぜ込んだ原料は、400~500kgの高密度圧縮と密閉ラッピングで2~3カ月長期発酵させ「完全食」の発酵飼料として完成する。出席者は、実際に手に取り、ほのかに甘い発酵臭に関心を示していた。

こうした取り組みについて、同社経産牛の主要販売先である(株)銀閣寺大西の大西英毅常務は「もはや日本の和牛がおいしいのは当たり前。これからのマーケット、特に海外では『どんな考え方で、何を食べさせて育てたか』という背景(物語)が評価の対象になる」と強調。EUDRなどの国際規制をクリアする「履歴の追える餌作り」が、和牛のブランディングにおいて有効



な武器になり得ると断言した。実際に銀閣寺大西では「サステナブル和牛 熟」をイタリアなど欧州中心に、29カ国で販売。ミシュランの星付きレストランなど、多くの高級店に販路を拡大しているようだ。

生産者、加工業者、販売者が一つのチームとなり、地域資源の循環を「付加価値」として消費者に届ける。熟豊ファームのTMRセンターは、その価値を物理的に裏付ける「心臓部」として機能することになる。石飛社長は「すでに問い合わせは多く受けている。生産だけでなく飼料販売にも取り組んでいきたい」と話す。

来賓として出席したJAしまねの竹下克美代表理事組合長ら、地域・行政の長も、この「耕畜連携」の高度化に全面的な期待を寄せる。

輸入飼料という「外圧」にさらされ続ける日本の畜産。その脆弱性を、地域資源の再定義と最新テクノロジーによる「循環」で克服しようとする熟豊ファームの挑戦は、持続可能な再生産と循環型農法の高度な両立を目指す次世代畜産のモデルケースとして、今後も注目が集まるだろう。

[訂正]本紙4月30日付2面に掲載の[農水省／春の叙勲]の記事内、「農水省・旭日重光章」の受章者

に柴山育郎氏とありますが、正しくは「柴山育朗」氏です。おわびして訂正します。

【豚肉調製品輸入通関・3月】 シーズンドなど合計 7290 tで5・4%減

財務省が公表した3月分の貿易統計によると、豚肉調製品の輸入通関量は、カタを原料としたシーズンドポークを含む1602.42-090は、合計7290t(前年同月比5・4%減)と前年同月から減少した。前月から1806t減少した。国別にみると、米国が3435t(23・8%減)、チリが936t(5・4%増)、カナダが780t(22・1%減)、メキシコが1211t(17・1%増)となった。

計は3807t(26・0%増)となった。国別では、米国が2801t(43・2%増)、中国が629t(10・1%減)、デンマークが173t(約2倍増)、タイが92t(45・0%減)、メキシコが88t(1・8%増)となった。

また、表記以外のモモ肉およびこれを分割した1602.41-090は、米国341t、中国85t、韓国19t、タイ16tなど6カ国から合計476t輸入された。

カタ・モモ以外を原料とした1602-49-290の合

1602.42-090 カタを原料としたもの

単位:トン

	カナダ	アメリカ	チリ	メキシコ	オランダ	デンマーク	その他計	合計
2025年3月	1,001	4,507	888	1,034	0	17	260	7,707
4月	1,146	6,379	983	989	0	155	924	10,577
5月	1,721	5,607	913	814	0	233	811	10,100
6月	1,340	7,055	840	704	0	144	635	10,712
7月	1,097	4,858	1,584	880	0	314	747	9,480
8月	1,218	5,687	936	704	0	73	744	9,362
9月	1,071	5,642	1,440	572	0	216	740	9,681
10月	1,707	5,892	1,248	1,066	0	0	1,163	11,075
11月	852	5,363	936	903	0	264	398	8,717
12月	1,024	6,560	1,200	572	0	192	864	10,413
2025年計	13,423	67,061	12,912	9,824	0	1,627	8,454	113,337
前年比	95.2	97.7	118.9	107.7	0	18.5	151.4	95.9
1月	1,073	4,983	1,334	1,386	0	258	822	9,854
2月	851	5,509	1,042	771	0	317	607	9,096
3月	780	3,435	936	1,211	0	429	500	7,290
前年同月比	77.9%	76.2%	105.4%	117.1%	0	2491.0%	192.3%	94.6%
2026年累計	2,703	13,926	3,312	3,367	0	1,004	1,929	26,241
前年同期比	120.3%	99.3%	117.0%	128.6%	-	2902.9%	135.1%	113.0%

1602.49-290 カタ・モモ以外を原料としたもの、混合を含む

単位:トン

	中国	デンマーク	アメリカ	タイ	オランダ	メキシコ	その他計	合計
2025年3月	700	86	1,956	167	0	86	25	3,021
4月	989	326	1,669	96	16	88	54	3,237
5月	646	374	2,058	79	0	43	41	3,240
6月	603	392	1,786	115	0	110	7	3,013
7月	988	231	2,396	131	0	110	33	3,890
8月	785	109	1,664	58	15	22	2	2,654
9月	752	336	1,875	109	0	108	28	3,208
10月	936	128	2,169	112	15	88	6	3,455
11月	959	337	2,009	72	0	88	11	3,476
12月	964	178	2,246	103	31	44	9	3,576
2025年計	9,618	3,405	24,241	1,217	77	985	263	39,814
前年比	83.0%	65.6%	77.4%	67.9%	56.0%	73.9%	72.9%	76.9%
1月	943	445	2,038	59	0	175	17	3,676
2月	744	122	1,849	98	15	88	67	2,982
3月	629	173	2,801	92	0	88	23	3,807
前年同月比	89.9%	200.8%	143.2%	55.0%	0	101.8%	92.0%	126.0%
2026年累計	2,316	739	6,687	248	15	351	107	10,465
前年同期比	116.0%	74.5%	105.0%	72.6%	-	123.5%	148.6%	104.0%

【輸入牛現物相場】モモ系の荷動き良化、ロインは一服か

豪州産チルドは前週の相場から変動なし。ロイン系は関東圏で逼迫感が解消され、引き合いは一服。そ

の他はカタ系、バラ系、これまで弱かったモモ系も荷動きが活発となっている。

相場は高止まりの状況だが、ゴールデンウィークが明けると引き合いが落ち着き、関西圏で通関遅れの玉が入荷することで一時的に相場も下がるのではと思われる。

米国産はショートプレート中心の荷動きのため、大きな価格変動はなさそう。フローズンは豪州産、米国産共に荷動きは弱い。といっても買付量が抑制傾向にあるため、現状の高値相場は引き続き維持するとみられる。

[輸入牛現物相場]		円/キロ	
		グラス	ショートグレイ
豪州産C	トップサイド	1,650 ~ 1,750	1,720 ~ 1,900
	シックフランク	1,500 ~ 1,700	1,650 ~ 1,750
	アウトサイド	1,610 ~ 1,700	1,640 ~ 1,750
	ポイント	1,380 ~ 1,680	1,450 ~ 1,800
	ナーベル	1,200 ~ 1,380	1,250 ~ 1,350
	ランプ	1,650 ~ 2,000	1,900 ~ 2,100
	クロッド	1,350 ~ 1,680	1,550 ~ 1,800
	チャックロール	1,600 ~ 1,850	1,850 ~ 2,200
	チャックテンダー	1,450 ~ 1,720	1,550 ~ 1,850
	キューブロール	3,400 ~ 3,700	3,950 ~ 4,500
	ストリップロイン	2,600 ~ 2,900	2,700 ~ 3,350
	テンダーロイン	4,200 ~ 4,950	4,950 ~ 5,350
豪州産F	チャック&ブレード	-	-
	ポイント	1,520 ~ 1,560	-
	ナーベル	1,050 ~ 1,280	-
	カウミート	1,150 ~ 1,320	-
F	トップサイド	1,400 ~ 1,450	-
	シックフランク	-	-

		チルド	フローズン
米国産	ショルダークロッド	1,700 ~ 1,800	1,550 ~ 1,650
	ショートプレート	1,280 ~ 1,350	1,100 ~ 1,280
	ボンレスショートリブ(チョイス)	5,850 ~ 6,540	-
	チャックリブ(チョイス)	2,700 ~ 3,550	2,250 ~ 2,350
	ストリップロイン(チョイス)	4,300 ~ 4,800	-
	リアアイロール(リップオン)	5,200 ~ 5,500	-
	テンダーロイン	5,700 ~ 6,000	-
	チャックアイロール(チョイス)	2,400 ~ 2,750	2,000 ~ 2,300
	同(プライム)	2,700 ~ 3,000	2,500中心

【ブローラー市中現物相場】国産生鮮モモ高値、稼働少なく物量タイト

◇国産物 生鮮モモの日経荷重の東京相場はゴールデンウィーク前からやや堅調に推移し、28日に839円の高値となった。工場の稼働が少なくなる一方、家庭で時間をかけて調理する機会が増えるため、GW明けまでは、生鮮モモ、ムネとも物量のタイトさ、相場高は続くものと考え。

正肉が値を下げたが、以降はブラジル産、タイ産共モモ正肉、カット物共におおむねもちあいで推移。外食・中食ともほとんどの企業でGW中の繁忙期に向けた仕込みは完了しているため、荷動きは少ない。

◇輸入物 4月半ばに逼迫感がやや薄れたモモ

単位:円/キロ

[ブローラー市中現物相場] 単位:円/キロ

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	740~780
ムネ正肉(〃)	400~480
手羽モト(〃)	300~350
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	380~500

輸入物	
米国産モモ正肉(240gUP)	玉なし
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産BIL	530~550
ブラジル産モモ正肉	750~780
ブラジル産モモ角切り	830~850
ブラジル産皮なしモモ正肉	780中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	450~470
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	750~780
タイ産モモ角切り(25~30g)	830~850
米国産モモ串	玉なし

【資料】食肉加工品生産数量調査報告書(2026年3月分)

	銘柄	生産数量	前年同月比	2026年累計	前年同期比
ハム類	ロースハム	4,703.7	96.8	13,033.6	98.6
	ボンレスハム	475.2	116.1	1,269.9	105.0
	骨付きハム	6.1	110.9	14.8	102.8
	ラックスハム	699.3	97.0	2,051.9	105.6
	ベリーハム	1.7	70.8	5.0	72.5
	ショルダーハム	93.5	103.1	275.4	92.7
	その他ハム	715.5	88.6	2,030.3	97.1
	小 計	6,695.0	97.1	18,680.9	99.5
ベーコン類	ベーコン	6,292.5	97.1	17,368.6	96.4
	ロースベーコン	1.0	500.0	2.6	260.0
	ショルダーベーコン	465.5	128.2	1,376.6	131.2
	その他ベーコン	189.3	103.3	547.0	105.3
	小 計	6,948.3	98.8	19,294.8	98.5
ソーセージ類	ウインナーソーセージ	18,805.8	101.0	53,514.4	100.8
	フランクフルトソーセージ	2,220.7	86.5	6,102.8	89.9
	リオナソーセージ	438.7	130.9	1,155.2	112.5
	ポロニアソーセージ	1,261.1	123.1	3,352.7	107.6
	ドライソーセージ	563.2	119.9	1,463.1	108.3
	セミドライソーセージ	25.9	112.1	68.2	113.9
	レバーソーセージ	1.7	100.0	8.7	113.0
	レバーペースト	1.2	171.4	2.8	116.7
	加圧加熱ソーセージ	10.5	617.6	32.8	585.7
	無塩漬ソーセージ	734.1	95.0	2,205.6	97.9
	混合ソーセージ	1.0	200.0	3.3	235.7
	加圧加熱混合ソーセージ	0.8	133.3	2.9	170.6
	その他ソーセージ	291.2	79.4	807.2	76.5
	小 計	24,355.9	100.7	68,719.7	100.0
プレスハム類	プレスハム	303.3	112.6	779.5	102.8
	混合プレスハム	0.0	0.0	0.0	0.0
	チョップドハム	1,379.6	98.6	3,840.0	105.7
	小 計	1,682.9	100.9	4,619.5	105.2
合 計		39,682.1	99.8	111,314.9	99.8
ポークソーセージ		14,852.4	102.8	41,777.2	102.2
サラミソーセージ		105.1	132.4	248.0	115.1
ハンバーグ類		1,688.3	94.7	4,943.5	97.5
焼き豚		1,693.5	106.9	4,554.2	103.4
その他		3,784.0	106.2	10,397.8	100.6

- 注) 1. 生産数量は食肉加工工場より報告された数量である。
 2. ポークソーセージはウインナー、フランク、ポロニアの内数である。
 3. サラミソーセージはドライ、セミドライの内数である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」
 (公益財団法人日本食肉協議会委託事業)

[資料] 2026年3月分の食肉輸入通関実績③

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

価格が1kgにつき、部分肉に係る分岐点価格(関税
暫定措置法別表第1の3又は同法別表第1の8の該
当する号に定める価格)を超えるもの(冷凍したも
の)

DENMARK	204 KG	1644471	1197274	6469354	4691802
U KING	205 KG	190121	151856	309540	244570
IRELAND	206 KG	241773	157734	913973	607195
NETHLD	207 KG	577432	400662	1753883	1191080
BELGIUM	208 KG	67194	43563	157120	110173
FRANCE	210 KG	1716594	1256797	3959705	2863096
PORTUGL	217 KG	-	-	166283	113455
SPAIN	218 KG	1892874	1363784	20326213	14004674
FINLAND	222 KG	128182	85043	393410	256656
AUSTRIA	225 KG	71774	65439	143864	117888
CANADA	302 KG	3941814	2347654	8981328	5256767
USA	304 KG	5561948	3198920	13553081	7853264
MEXICO	305 KG	5088350	3687116	13216487	9166514
CHILE	409 KG	2668035	1600958	8416280	4945469
BRAZIL	410 KG	9566320	5481390	27078734	15450364
TOTAL	990 KG	33356882	21038190	105839255	66872967
(E. U)	991 KG	6340294	4570296	34283805	23956019

0203. 29-024 その他の豚の肉(いのししのもの以外のもので課税
価格が1kgにつき、部分肉に係る従量税適用限度価
格(関税暫定措置法別表第1の3又は同法別表第1
の8の該当する号に定める価格)を超え、部分肉に
係る分岐点価格(関税暫定措置法別表第1の3又は
同法別表第1の8の該当する号に定める価格)以下
のもの(課税価格が1kgにつき、399円未満のも
の)(冷凍したもの)

SPAIN	218 KG	-	-	101749	30110
CANADA	302 KG	23993	9132	188898	59331
USA	304 KG	-	-	47273	9130
TOTAL	990 KG	23993	9132	337920	98571
(E. U)	991 KG	-	-	101749	30110

0203. 29-025 その他の豚の肉(いのししのもの以外のもので課税
価格が1kgにつき、部分肉に係る従量税適用限度価
格(関税暫定措置法別表第1の3又は同法別表第1
の8の該当する号に定める価格)を超え、部分肉に
係る分岐点価格(関税暫定措置法別表第1の3又は
同法別表第1の8の該当する号に定める価格)以下
のもの(課税価格が1kgにつき、399円以上のも
の)(冷凍したもの)

DENMARK	204 KG	-	-	48923	25631
NETHLD	207 KG	-	-	23855	12493
BELGIUM	208 KG	-	-	460	240
SPAIN	218 KG	-	-	16086	8364
CANADA	302 KG	72976	38238	486868	254920
USA	304 KG	968421	507340	3457775	1810876
CHILE	409 KG	441	231	441	231
BRAZIL	410 KG	1138942	595762	4253259	2223838
TOTAL	990 KG	2180780	1141571	8287667	4336593
(E. U)	991 KG	-	-	89324	46728

0204. 10-000 子羊の枝肉及び半丸枝肉(生鮮又は冷蔵したもの)
FRANCE 210 KG 67 266 188 746
TOTAL 990 KG 67 266 188 746
(E. U) 991 KG 67 266 188 746

0204. 22-000 羊の骨付き肉(枝肉及び半丸枝肉以外のもの)(生鮮
のもの及び冷蔵したもの)
IRELAND 206 KG 584 2445 1591 6684
FRANCE 210 KG 3575 16102 7080 31756
AUSTRAL 601 KG 52108 149082 142798 434375
NEWZELD 606 KG 104213 388082 171035 607254
TOTAL 990 KG 160480 555711 322504 1080069
(E. U) 991 KG 4159 18547 8671 38440

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

0204. 23-000 羊の肉(骨付きでないもの)(生鮮のもの及び冷蔵し
たもの)

FRANCE	210 KG	142	586	142	586
AUSTRAL	601 KG	435582	898633	1302767	2703726
NEWZELD	606 KG	162330	311021	361626	692833
TOTAL	990 KG	598054	1210240	1664535	3397145
(E. U)	991 KG	142	586	142	586

0204. 30-000 子羊の枝肉及び半丸枝肉(冷凍したもの)
ICELAND 201 KG 20361 38199 38936 72690
AUSTRAL 601 KG 17455 19286 36483 40501
TOTAL 990 KG 37816 57485 75419 113191

0204. 41-000 羊(子羊のものを除く。)の枝肉及び半丸枝肉(冷凍
したもの)

ICELAND	201 KG	9955	9192	9955	9192
NEWZELD	606 KG	153293	121569	350614	274867
TOTAL	990 KG	163248	130761	360569	284059

0204. 42-000 羊の骨付き肉(枝肉及び半丸枝肉以外のもの)(冷凍
したもの)

ICELAND	201 KG	-	-	28535	30798
SPAIN	218 KG	312	974	312	974
AUSTRAL	601 KG	189182	212279	596935	636381
NEWZELD	606 KG	50032	53989	457046	465787
TOTAL	990 KG	239526	267242	1082828	1133940
(E. U)	991 KG	312	974	312	974

0204. 43-000 羊の肉(骨付きでないもの)(冷凍したもの)
ICELAND 201 KG 8743 24438 13625 36216
AUSTRAL 601 KG 831428 1296752 2334861 3705742
NEWZELD 606 KG 119348 217472 296709 520999
TOTAL 990 KG 959519 1538662 2645195 4262957

0204. 50-000 やぎの肉(生鮮のもの及び冷蔵し又は冷凍したも
の)

AUSTRAL	601 KG	131561	125956	264177	254798
TOTAL	990 KG	131561	125956	264177	254798

0205. 00-000 馬、ろ馬、ら馬又はヒニーの肉(生鮮のもの及び冷
蔵し又は冷凍したもの)

CHINA	105 KG	51708	120346	115216	271667
MONGOL	107 KG	120	306	120	306
FRANCE	210 KG	9128	27437	9128	27437
POLAND	223 KG	31296	38589	54443	55630
CANADA	302 KG	54204	108920	119115	241067
MEXICO	305 KG	-	-	18366	25677
BRAZIL	410 KG	41695	33849	172633	151920
URUGUAY	412 KG	148240	168839	263326	308009
ARGENT	413 KG	125152	114815	243810	238752
TOTAL	990 KG	461543	613101	996157	1320465
(E. U)	991 KG	40424	66026	63571	83067

0206. 10-011 牛の食用の舌(生鮮のもの及び冷蔵したもの)
CANADA 302 KG 146175 485983 392381 1261052
USA 304 KG 1196848 4372740 3381769 11962627
MEXICO 305 KG 970 2204 2216 4994
AUSTRAL 601 KG 377842 1045421 885556 2439814
NEWZELD 606 KG 14368 38986 28828 77702
TOTAL 990 KG 1736203 5945334 4690750 15746189

0206. 10-019 牛の食用の臓器(舌を除く。)(生鮮のもの及び冷蔵
したもの)

IRELAND	206 KG	224	709	884	2797
CANADA	302 KG	344978	775550	1013555	2271273
USA	304 KG	1237448	3039850	3424222	8196644
MEXICO	305 KG	3397	5929	7629	13449
AUSTRAL	601 KG	702996	1316308	1627289	3029728
NEWZELD	606 KG	32463	61338	75141	127754
TOTAL	990 KG	2321506	5199684	6148720	13641645
(E. U)	991 KG	224	709	884	2797

0206. 10-020 牛の食用のほほ肉及び頭肉(生鮮のもの及び冷蔵し
たもの)

AUSTRAL	601 KG	558	1074	1528	3008
NEWZELD	606 KG	385	687	1124	2002

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月30日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	2,808	2,594	-	-	-
		安値	2,482	2,485	-	-	-
		平均	2,662	2,548	-	-	-
		37頭 頭数	31	6	-	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	2,370	-	-	-
		1頭 頭数	-	1	-	-	-
	去 A	高値	2,971	2,587	2,563	-	-
		安値	2,508	2,510	2,510	-	-
		平均	2,707	2,534	2,538	-	-
		53頭 頭数	48	3	2	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	-頭 頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭 平均	-	-	-	-	-	
	雌 C -頭 平均	-	-	-	-	-	
	去 B -頭 平均	-	-	-	-	-	
	去 C -頭 平均	-	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 19頭 平均	-	1,850	1,845	1,813	-	
	雌 C -頭 平均	-	-	-	-	-	
	去 B 12頭 平均	-	1,895	1,877	1,759	-	
	去 C 1頭 平均	-	-	1,734	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚	その他
と畜 売買	204	1,096	-	(競り) (相対)	
	182	1,030	142.5	-	4 29

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A		-	1,946	1,914	1,892	-
	B	-	-	-	1,696	1,308
和 去 A		2,571	2,548	-	-	-
	B	-	-	-	1,440	-
乳 雌 B		-	-	-	1,219	1,192
	C	-	-	-	1,188	1,113
乳 去 B		-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌 B		-	1,848	1,817	1,834	-
	C	-	-	-	-	-
交 去 B		1,955	1,898	1,884	1,461	-
	C	-	1,795	1,730	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	867	958	858	812	724
	安値	832	810	724	410	86
	平均	847	832	794	704	488
	頭数	(6)	(430)	(310)	(164)	(120)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	-	497
	安値	-	-	-	-	463
	平均	-	-	-	-	489
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)

[大阪食肉卸売市場] 4月30日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	-	2,642	-	-	-
(頭数)	(-)	(2)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,710	2,582	-	-	-
(頭数)	(2)	(2)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,879	1,829	1,763	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,924	1,859	-	-
C	-	1,846	1,828	-	-
豚	-	770	757	599	489

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月30日	4月28日	(4月累計)
豚	69,900	68,000	1,311,400
成牛計	1,770	2,970	88,150
和牛雌	340	670	21,530
和牛去勢	290	500	23,160
乳牛雌	530	790	13,610
乳牛去勢	360	310	8,730
交雑雌	100	470	10,580
交雑去	150	230	10,510

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月30日

東京	1,778 円	(前日 1,850 円)
大阪	1,836 円	(前日 1,820 円)

[豚・全農建値] 4月30日

上	中	取引頭数	市況
841 円	796 円	1,378 頭	急落

と畜 売買	牛 - 頭 牛 38 頭	豚 98 頭 豚 128 頭	牛概況 豚概況	もちあい 反落
----------	-----------------	-------------------	------------	------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月30日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	724 (724)	- (-)	-	-	もちあい
仙台 [中]	836 (820)	708 (784)	796	46	続伸
栃木 [地]	849 (874)	826 (825)	1,455	95	反落
茨城 [地]	881 (875)	825 (832)	991	621	続伸
群馬 [地]	804 (828)	672 (725)	2,229	226	続落
さいたま [中]	824 (826)	796 (812)	143	148	弱もちあい
東京 [中]	832 (929)	794 (882)	1,096	1,030	急反落
横浜 [中]	869 (871)	798 (853)	673	603	反落
山梨 [地]	844 (824)	802 (777)	211	207	続伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	842 (821)	802 (797)	954	165	続伸
京都 [中]	739 (758)	704 (753)	81	106	もちあい
大阪 [中]	770 (793)	757 (795)	98	81	反落
神戸 [中]	- (788)	- (780)	-	-	休市
岡山 [地]	736 (748)	740 (727)	382	417	弱気配
広島 [中]	- (809)	- (778)	457	2	-
福岡 [中]	735 (791)	700 (765)	586	206	急落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。栃木、茨城、群馬の前日は29日。

[日本食肉流通センター] 4月23日～4月29日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,623,147 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,220	1,288	1,324	1,294	85,884
うで	821	892	926	895	117,952
ロース	1,178	1,274	1,347	1,278	130,422
ばら	1,309	1,332	1,371	1,341	191,280
もも	864	872	900	877	197,479
ヒレ	1,229	1,287	1,298	1,275	10,017
セット	1,038	1,072	1,101	1,075	890,113

◇近畿圏 総重量 734,670 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,296	1,404	1,480	1,392	57,570
うで	797	821	861	822	120,942
ロース	1,188	1,287	1,325	1,280	104,452
ばら	1,338	1,407	1,458	1,403	129,820
もも	805	824	864	829	169,090
ヒレ	1,242	1,428	1,510	1,414	12,695
セット	1,025	1,104	1,259	1,118	140,101

[食鳥正肉日経相場] 4月28日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	749	839	1,014	162
ムネ	428	484	696	189

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	737	809	1,050	3
ムネ	428	498	610	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月28日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,104	708	550	600	650
安値	770	460	290	360	350
平均	849	500	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日期間中（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる
数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全
日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、
最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする
今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ
牛枝肉・牛部分肉の見方
牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版
牛枝肉・部分肉の
分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする
食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します